



SILVER MEDAL  
RIN KIDA

International Physics Olympiad  
Lisbon, 21-29 July 2018

# NEWS

## 在校生の喜田輪さん(高3)が 国際物理オリンピック2018 in リスボンで 銀メダルを獲得しました!



### ポルトガル・リスボンで 開催された世界大会での快挙!

2018年7月に開催された第49回国際物理オリンピックにおいて、日本代表として参加した本学の喜田 輪さん(高3)が銀メダルを受賞しました。ポルトガルのリスボンで開かれた大会には86カ国・地域から396名の若者が集結。世界の精鋭を相手に厳しい競争を勝ち抜いての快挙となりました。喜田さんは、2017年の夏、岡山県にて3泊4日の合宿形式で開かれた「物理チャレンジ」において約100名の参加者から日本代表候補(12名)に選ばれ、以後3回の国内合宿を経て日本代表(5名)の一人に選出されました。今回参加した日本代表は喜田さんを含む4名が銀メダル、1名が金メダルを獲得しています。



日本代表のメンバーと。左から2人目が喜田さん。  
写真提供:特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会

#### 国際物理オリンピックとは?

物理の国際的なコンテスト。7日間の会期の間、理論問題・実験問題に各5時間をかけて挑戦する。大学などの高等教育を受けていない20歳未満であることが参加資格。



初芝富田林高等学校  
3年 喜田 輪さん



初芝富田林中学校高等学校  
校長 平井 正朗



初芝富田林中学校高等学校  
教諭 仁井 泰久

#### 支えてくれた方々に感謝!

日本代表としてコンテストに参加している以上、成果を出したいという気負いもあったので、銀メダルが獲れてホッと安心しました。挑戦を支えてくれた先生方や仲間たち、日本代表に関わるスタッフの方々、そして信頼して見守ってくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

#### まさに快挙。誇りに思います。

物理学の高度な領域を喜田さんは自ら学び続け、権威ある国際大会での偉業を成し遂げました。まさに本学の自主自立の精神を見事に体現した存在として本当に誇らしく思います。彼の活躍に刺激を受けた生徒たちが、続々と世界をめざして挑戦していくことを願っています。

#### 彼の努力が評価されました。

関心があることに積極的かつ全力で取り組む喜田さん。中1から担任として彼を見続けていますが、意欲的に学ぶ姿勢を頗もしく感じていました。理数系の勉強会の立ち上げに関わったり、精力的に学んできた彼の努力が、国際大会での銀メダルという形で表れて心から喜んでいます。

# 初芝富田林中学校・高等学校



## 夢は理論物理学の研究者。 まずは東大合格が目標です。——喜田 輪さん

### はつとんの勉強会が すべての出発点。

小さなころから物事を客観的な視野で系統的にとらえる「科学」に関心がありました。数学が得意だったことから、中学生になってジュニア数学オリンピックへの参加をめざす勉強会をつくり、放課後に仲間たちと自主学習に励みました。はつとんの先生方も私たちの活動をあたたかく見守ってくれました。

高校進学が迫るころから日常の現象を科学的にとらえて解析する物理学の学習に興味をもち、高1になった2016年の夏には物理チャレンジに参加。日本代表候補に選ばれました。しかし、日本代表としてインドネシアの国際大会に参加することは叶わず、悔しい思いをすることに。高2でチャレンジした2017年夏の物理チャレンジを経て、今回は日本代表に選出され、ポルトガ

ルの国際大会で銀メダルを受賞することができました。



### 世界大会で得た自信。 そして未来へのビジョン。

86カ国・地域から396人が参加する大会で同年代の世界トップクラスの頭脳と競い合い、高く評価された経験は大きな自信になりました。そのなかで将来も物理を学び続けたいという目標が生まれたのも、大会で得られた成果の一つです。さらに、日本代表の仲間とは合宿や本大会での日々を通して本当に仲良くなれました。物理学のフィールドで切磋琢磨できる人間関係を広げられたことはこれから勉強においても財産になるでしょう。

はつとんでも、同じく物理チャレンジに挑んだ同級生のライバルの存在が本当に励みになりました。彼とともに物理学の難問を解き、ともに全国大会に出場し、協働して競い合った時間はすばらしいひとときでした。将来は基礎物理学の領域で研究者になるのが今の私の夢。まずは東大合格が目標です。はつとんのライバルも東大をめざしています。互いに競い合い励まし合って、同じ目標の実現をめざしてがんばりたいと思います。



数学勉強会で指導中の輪さん。

## 初芝富田林中学校・高等学校のサイエンス教育

### 実践型・探究型学習を重視。

数学・物理学の解法や化学式などの背景にある理論や自然法則を、演習・実験などで体験を通して理解できるよう、実践型・探究型の学びを大切にしています。課題を発見したり仮説を立てたりするなかで、本来の学びの楽しさを実感しながら、柔軟な知性を育みます。



### ICTを学習ツールに積極活用。

生徒各人がそれぞれ1台のタブレット型パソコンをもち、ICTをツールとして学びに活用しています。ほかにも、特別教室を含む全教室への電子黒板の設置とLAN環境の整備が完了。情報の入手や整理を迅速に行い、情報共有しながら学べる環境を整えています。

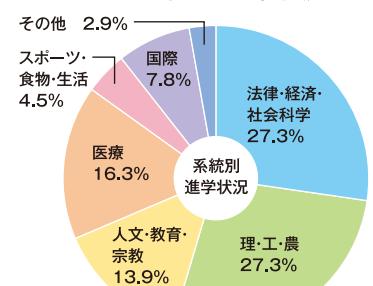


### 立命館大学の理系学部に進学の道も。

本校がグループ校として連携する立命館大学のびわこ・ぐさつキャンパス(BKC)には理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部の理系学部があります。日本有数の実験施設など、先進的な環境を整え、最新鋭の研究活動が展開されています。



#### ●2018年度の進学状況



#### ●理系学部への進学状況

- 和歌山県立医科大学 医学部
- 兵庫医科大学 医学部
- 東京歯科大学 歯学部
- 京都薬科大学 薬学部 など
- 大阪大学 工学部
- 神戸大学 工学部
- 東北大学 工学部 など

### INFORMATION

平井校長が全国英語教育研究団体連合会(全英連)より、英語教育への功績を讃えられ、表彰されました。私立高等学校での数少ない受賞者の一人です。

学校法人 大阪初芝学園

初芝富田林中学校・高等学校

〒584-0058 大阪府富田林市彼方1801番地

[TEL] 0721-34-1010 [FAX] 0721-34-1090

<http://www.hatsushiba.ed.jp/tondabayashi/>

